

## JICA研修員が和歌山県で災害対策を学ぶ —田辺西バイパス芳養町字宇佐美地区における 道路の法面を活用した津波災害時の避難路視察—

JICA 関西では、現在、10月18日から12月13日まで、研修「インフラ施設（河川・道路・港湾）災害対策とマネジメント（B）」を（一財）近畿建設協会のご協力を得て、実施しています。本研修では、5か国から来たインフラ防災に携わるエンジニア5名が日本の防災対策技術を学んでいます。

日本でのインフラ施設の事例として、地震による津波発生時の避難活動を支援するため、地元行政機関及び地域住民との連携により田辺西バイパスの整備に合わせて田辺市芳養町字佐美地区地先に設置された道路の法面を活用した避難路及び一時避難場所を視察します。

今後30年間で70～80%の確率で発生すると予想されている南海トラフ地震。和歌山県田辺市における津波到達時間は地震発生から10分から25分、津波の高さは最大12mを想定しています。研修員は斜面避難路の実例視察を通して、自国の防災対策技術の発展に役立っています。

2013年の避難路完成以来、外国からの視察で初めてのプレスリリースとなります。以下の日程で取材可能ですので研修員へのインタビューと取材を是非ご検討ください。

### 参加研修員：5か国5名

（参加国：アルバニア・インドネシア・マダガスカル・マラウイ・ナイジェリア）

### 取材可能日程：

12月1日（金） 13:30～14:30 国道42号田辺西バイパス

芳養町字宇佐美地区斜面避難路の視察

※本視察は国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所の協力を得て実施します。



昨年の視察風景(2022年12月)



浸水高さや避難路高さ（紀南河川国道事務所作成 テキスト資料より）

以下プレスリリースサイトも参照下さい

—ご取材いただける場合は事前にご連下さい—

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 研修業務課 西岡 碧

TEL 078-261-0386 e-mail : Nishioka.Midori@jica.go.jp

